

地域生活サポートセンターひぼっと南光台

第43号

ひぼっと

南光台通信

VOL.0043

2025年12月25日発行

発 行： 社会福祉法人つどいの家地域生活サポートセンター「ひぼっと南光台」

責任者： 三浦 郁美（管理者）

住 所： 981-8003 仙台市泉区南光台 3 丁目 1-24

連絡先： TEL 022-779-7341 FAX 022-779-7342



管理者よりご挨拶



今年も残すところあとわずかとなりました。

この一年も、皆様からの温かいご理解とご協力のおかげで充実した活動に取り組むことができましたこと、心より感謝いたします。

利用者の方々と一緒に過ごす中で、何気ない会話や楽しそうな笑顔に触れるたび、私たち職員も心が温まり、たくさんの活力をもらいました。このような時間が継続できるよう、新しい年も利用者の方々の可能性や個性を大切にしながら、自分らしく輝けるチャンスをたくさん提供していきたいと考えています。

誰もが地域の中で心豊かに暮らせる「安心の輪」を広げ、お互いに助け合い、認め合える「共生社会」を目指し、支援を続けていきたいと思いますので、引き継ぎ、ご支援・ご協力の程よろしくお願ひいたします。

管理者 三浦郁美



きょうだい支援



BRIDGE (ブリッジ)



8月23日のきょうだい会では、プラスチックのコップを使い、風鈴作りをしました。それぞれ好きなシールやマスキングテープを貼って、オリジナルのかわいい風鈴が出来ました。おやつタイムをはさんで後半は、スタッフのスキルアップ研修で体験したレクリエーションを実践。ステレオゲームと風船バレーで盛り上りました。



10月12日はハ木山ベニーランドで芋煮会をしました。朝に降っていた雨も止み、みんなで工夫をしながら協力をして作った芋煮はとっても美味しかったです。食後には、それぞれ乗り物に乗ったりゆっくり休んだりして過ごしました。きょうだいさん同士で、わいわい♪と楽しんでいました。人生初のジェットコースターに挑戦したきょうだいさんもいました。

事務 山口

12月にはクリスマス会、2月には親子参加イベント、きょうだい会、3月には研修会を開催予定です。興味のある方は法人ホームページ内のサイトをご覧ください。

※病気やしうがいのある方の兄弟姉妹をきょうだいと表しています。



三丁目市～秋のふーど・ふえす～を開催しました♪

秋といえば、心地よい気候が続きイベントにぴったりの季節。ひっぽと南光台では、11月8日（土）に地域の方々との関わりの場として、今年度もちょこ・活のメンバーと一緒に三丁目市を開催しました。

今年のテーマは、ふーど・ふえす！！食品部門では、パンや焼き菓子、ピザにシフォンケーキ、コーヒー、味噌田楽、そしてキッチンカーにてタコスやおしゃれな飲み物を販売。イベント当日は、並んでいるおいしそうな商品を見ているだけで販売開始前からわくわく。味噌田楽の販売や、キッチンカーの出店は初めてだったので、特にドキドキわくわくでした。そしてステージ演目も盛りだくさん！マジックや二胡演奏、そして変面ショーと大盛り上がりでした。間近でマジックの不思議な世界に触れ、二胡の演奏を楽しみ、変面ショーに驚き…！とても贅沢な時間でした。

イベント中は、「イベント開催してます！」「よかったですか？」と、道行く地域の方にもお声かけし、足を運んでいただきました。普段、地域の方とお話しする機会があまり多いとは言えなかったのですが、年に1回の楽しいイベントに私たち職員もテンションが上がり、いつも以上に多くの方とお話すことができました。こうして、イベントを通して少しずつでもひっぽと南光台のこと、そしてそういうある方のことを知っていたらいいなと思いました。イベント終了後、振り返りの時間に「初めての参加だったが、とてもあたたかく居心地の良いイベントだった」との話が若手職員からありました。居心地の良さや安心感は、利用者さんの支援をする際にもとても大切にしていることです。楽しみながら、あたたかい雰囲気の中で居心地の良い空間を作ることができる、そんなイベントをみんなで力を合わせて開催できることにうれしくなりました。

当日ご協力いただいた、ぴあベーカリーさん、はまゆうさん、PAY'Sさん、マジックサークルふしきタティーさん、二胡演奏のメイリンリンさん、変面ショーボランティアさん、ご協力、ご来場いただいた地域のみなさま、ありがとうございました！また来年のイベントも楽しみです！

（すてっぷ・はうす 榊原）

満員の
変面ショー！
窓の外からも
鑑賞！



ちょこ・活

11月8日（土）の三丁目市～秋のふーど・ふえす～に伴い、第13回ちょこ・活を開催しました！

当日は学生さん5名、利用者さん5名に参加していただきました。

ちょこ・活のブースでは、利用者さん作のビーズストラップ、飲み物・味噌田楽の販売、お菓子づくりを担当させていただきました。それぞれステージ発表を見たり、パンを買って食べたりしながら、販売を手伝っていただきました！そのおかげで、温かい空気感の中で地域の方と交流することができました。

当日お越しいただきました皆様、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

（ぺんたす 長沢）



短期入所研修会報告

令和7年度第2回ショートステイ従事者の為の研修会、権利擁護・虐待防止についてと題して、前半は植草学園大学副学長の野澤先生を招いてご講演していただき、後半は野澤先生にも同席していただきながらグループワークを行いました。

野澤先生は新聞記者として勤められていた経歴があり、記事として取り上げたしうがいを持った方々が巻き込まれた数々の事件について、被害者家族にインタビューした時の話も交えながら話していました。そして、そのどれもが悲惨なものでした。

その中でも特に記憶に新しい津久井やまゆり園事件についても取り上げていただきました。

神奈川県相模原で起きた悲惨な事件。元職員の男性が施設に入所している19人の利用者を殺害し、職員3人を含む27人が負傷した事件です。彼の行いは人としていかなる理由があろうとも許されることではなく、擁護する訳では決してありませんが、事件後の令和2年に検証委員会が設置された後に、津久井やまゆり園や愛名やまゆり園で当時数十件の不適切な支援が行われていた事が発覚しています。彼も入職時は利用者を思いやる発言があったようですが、実際に現場で行われている支援を目の当たりにし、先輩職員からも「2、3年すればお前も分かる」などと言われ、心が徐々に歪み、事件に至ってしまったそうです。不適切な支援や環境がこれほど人を変えてしまうのかと胸が痛くなりました。

「僕ら支援者は絶えずグレーゾーンの中で揺れながら試されている。虐待を防ぐにはどうしたらよいか。いつ虐待の芽が出るかわからないと考え、謙虚さを持ち、風通しの良い職場環境を作ることが虐待をエスカレートさせないことだとし、小さな行き違いのような支援も報告するように」と、野澤先生は言います。構造化や環境の整備がどれほど利用者さんや職員の心身を健やかに保ち、より良い支援が生まれる場にすることが出来るかを考える、とてもいい機会になりました。

すべて・はうすはスタッフの人数や受け入れられる利用者さんの人数も多くありません。短期入所事業をきちんと事業として成り立たせるには適切な人員配置が必須です。ただ、適切な人員配置とはいっていい何でしょうか。私たちは、利用者さんが安心して、また利用したくなるような場所でありたいと思っています。スタッフとマンツーマンで過ごせる場ができる限り提供していきたい。そのためにも、つどいの家が目指す適切な人員配置を安定的に提供し続けていかなくてはならないと強く思いました。

すべて・はうす 高橋和也

強度行動障がい者を支える「レジデンスなさら」の実践

強度行動障がい者の生活を支えるグループホームの実践について、講演会を聴いてきました。

今回の講演では、大阪のグループホームでどのように当人のしうがい特性を分析し環境を変えてきたのかを、事例をもとにお話ししていただきました。

住まいの場は生活をしていくなかでとても大切なポイントです。私たちも、自分の家が好みに合わないような暮らしにくい場だとしたらストレスが溜まってしまいます。そのストレスをどう発散したらいいのか、どう伝えたらいいのかわからないという場合に「強行」と呼ばれる状態が現れます。そのような事態を避けるために、支援者としてその人に合った環境を模索していく必要があります。まずは小さなことからひとつずつ探ってみてることで知識を増やしていく。理解度が深まれば、適切な環境とはどういうものなのかが少しずつ見えてくる。たまに後退することもあるけれど、それも大切な情報として積み上げていく。優先すべきは完璧な結果ではなく、とりあえず準備をしてやってみること。そこから得る情報が道しるべになっていくと学びました。

ぺんたす 小原翔洋

職員隨想 ~私の趣味「将棋」に魅せられて~

今回は、私の趣味である将棋についてお話ししたいと思います。

私が将棋と出会ったのは、幼稚園の頃、父から教わったのがきっかけです。以来夢中になり、中学卒業までは家族や友人と毎日のように将棋盤を挟んでいました。当時は毎月将棋雑誌を購入し、テレビ番組を視聴して楽しんでいました。現在も友人との対戦やオンライン対局、インターネットでの観戦などを通じ、細く長く趣味として続けています。

私の棋力はアマチュア六段です。とはいっても、プロの世界ははるか雲の上。藤井聰太竜王・名人の足元にも到底及びません。そんな藤井竜王・名人の八冠達成をはじめとする目覚ましい活躍により、将棋界全体が注目されているのは、ファンとしてうれしい限りです。普段のニュースやワイドショーで対局の様子や、昼食やおやつに何を食べたかが話題になるほど、社会的な関心が高まっています。

ここ仙台でも、過去にタイトル戦が開催されたことはありますが、近年タイトル戦の七番勝負などの主要な対局は開催されていません。もしまだ開催の機会があれば、対局はもちろん、昼食やおやつも楽しみの一つです。

私は、いわゆる「羽生世代」の人間です。羽生善治九段には今もなおご活躍を期待しています。タイトル獲得歴代最多の通算 99 期という偉大な記録を達成された姿を、心から応援しています。前人未到の 100 期達成へ向けて、挑戦を続ける姿にも魅了されています。

今の将棋界は、AI（人工知能）を用いた研究が一般化しています。若手棋士を中心に戦術の多様化が進み、棋士たちは AI を強力な研究パートナーとして受け入れています。人間独自の創造性や深い洞察力と AI の融合により、将棋はさらなる進化を遂げようとしているのです。

私も、この最先端の AI 研究を積極的に取り入れ、自分の将棋へと昇華させていきたいと考えています。飽くなき探求心を持って、これからも研究に邁進してまいります。

ぺんたす 折原誠司

コミュニケーション技術・対人援助技術研修報告

10月22日にコミュニケーション技術・対人援助技術研修に参加してきました。

職場コミュニケーションの大切さや、職場でのコミュニケーションで難しいと感じること。安心安全な職場環境をつくる話し方と聞き方。それに加えて、チームワークを高めるために機嫌良く働ける職場を目指すということについても勉強させていただきました。

質の良いサービスを提供するためには良好な人間関係と情報の共有が必要であり、チームで連携することも重要であるということでした。話し方ひとつとっても、相手側の受け取り方次第で人間関係に影響していくことも理解できました。

この研修で学んだことを活かしながら、より良い職場環境を形作っていこうと思います。

ぺんたす 工藤太

10/31 あるひ南光台さんと ハロウィンイベント



ハロウィンの日！近隣にある放課後ディサービス「あるひ南光台」を利用している皆さん、さまざまな仮装をして遊びに来てくれました！「トリックオアトリー！」ぴっぽと南光台からは仮装した介護人と、その日利用していた利用者さんからお菓子をお渡しし、素敵なお交流の機会になりました！



11/25 南光台三丁目公園清掃

毎年恒例の南光台三丁目公園清掃を行ないました！今年もたくさんの落ち葉をほうきでサササっと集め、ギュギュっと袋に詰めて、28袋分も回収できました！！ぴっぽと南光台の職員と、町内会長さんも一緒に公園清掃に参加してくださいました！気温の低い日でしたが、一生懸命清掃していると体もぽかぽかになり、いつの間にか上着をベンチに放り投げて落ち葉を集めていきました。地域がきれいになると気持ちが良いですね～！清掃を終えて事務所に戻る職員の後ろ姿、どこかかっこよく見えませんか？笑

（すてっぷ・はうす横山）



編集後記

いよいよ今年も残りわずかになりました。振り返ることは山ほどあれど、手につくことはあまりないです。年の瀬の夜を寂しく感じるのは自分だけでしょうか。過ぎた時間を恋しく思うのか、あの静かな夜のせいで感傷的になってしまっているのか。自分でもよくわからないままでいます。それでも年は暮れていくので、時間とは偉大なものです。みなさま、良いお年をお迎えください。

ぺんたす大沼